

『あたたかい言葉』と『想像力』を大切にして ～ 安心できるタブレット端末利用のために～

小郡市教育委員会では、子どもたちに1人1台のタブレット端末を配布しています。情報化社会が進展する中で、「これからの社会の中で、自分も他人も幸せに生きること」をめざしています。タブレットなどの情報機器（ICT 機器）は便利さと同時に心配されることもあります。

保護者のみなさまと連携して、「子どもたちが安心して活用できる環境を一緒につくりたい」という願いから、このパンフレットを作成しました。

下記の内容は、学校でも子どもたちに話していきますが、ご家庭でも日頃から話題にしていいただければと思います。学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを育てていきましょう。

1. お子さんの心と体を守るために (使用状況の把握を)

小郡市では「自分をまもる」「友だちをまもる」「家族をまもる」をスローガンにしています。

タブレットは、学習のために活用することを目的としています。安易に見知らぬ人と SNS 上で接触しないこと、夜10時以降は使わないことを約束しています。ご家庭においても、使い方のルールを話し合い、使用状況を見ていただき、安心・安全に活用できるようお声かけください。

2. 「あたたかい言葉」と「想像力」を大切に するために

オンライン上の会話や文字で他の人とやり取りをする際、画面の向こうの相手はどう思うかを想像して、あたたかい言葉を用いることが大切です。また、自分以外から発信されたものであっても、だれかが傷つくのではないかと想像することが大切です。誹謗中傷や人権侵害につながる表現に対しては、自分がすべきことを考え、判断し、行動することが大切である旨をお話しいただければと思います。

3. 立ち止まって考える力を育てるために

インターネット上には、客観的な事実と誤った情報が混在しています。子どもたちに配布するタブレットにはフィルタリングをかけていますが、情報の中には、本当かどうか見分けることが難しい情報も存在します。様々な情報に対し、「誰が、どんな目的で流している情報か」という視点を持って話し合うと、立ち止まって考えるきっかけになります。日頃の会話を大切にし、お子さんの様子が日頃と違うときには、積極的な声かけをお願いします。

4. 顔を見て伝え合える関係を大切に

情報技術が発達しても、お互いが顔の見える関係を大切にしていきたいものです。大事なことは直接顔を見て伝えることの大切さもご家庭でどうぞ話題にしてください。

学校でも、安易な書き込みや拡散をしないこと、言葉の大切さ、人権侵害を目にしたときにどう行動するかについて学習しています。相談し合える関係づくりが結果として、自他を守ることにもつながります。子どもたちの考え、行動する力を育てていきましょう。

インターネット上の人権に関する心配事などがありましたら、学校にご相談または、下記までご連絡ください。

- | | | |
|----------------------|---|-------|
| ○ 小郡市教育委員会（人権・同和教育課） | (0942) 72-2111 | 内線532 |
| ○ 小郡市教育委員会（学校教育課） | (0942) 72-2111 | 内線512 |
| ○ 法務省インターネット人権相談受付窓口 | https://www.jinken.go.jp/ | |
| ○ 子どもの人権110番 | (0120) 007-110 | |
| ○ みんなの人権110番 | (0570) 003-110 | |

